



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月23日

上場会社名 日本高純度化学株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4973 URL http://www.netjpc.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清水 茂樹  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 小島 智敬 TEL 03-3550-1048  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月7日 配当支払開始予定日 平成29年12月1日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の業績（平成29年4月1日～平成29年9月30日）

#### (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	5,031	30.5	551	49.3	602	41.5	422	35.5
29年3月期第2四半期	3,855	△16.3	369	△28.8	426	△24.6	311	△19.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	73.48	72.84
29年3月期第2四半期	53.87	53.57

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	13,287	10,964	81.9	1,890.96
29年3月期	11,153	9,548	85.0	1,649.86

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 10,883百万円 29年3月期 9,477百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	40.00	—	40.00	80.00
30年3月期	—	40.00	—	—	—
30年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成30年3月期の業績予想（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,470	2.9	940	4.4	1,030	2.7	730	1.9	127.08

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	6,317,200株	29年3月期	6,317,200株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	561,900株	29年3月期	572,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	5,748,357株	29年3月期2Q	5,786,184株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・当社は、平成29年10月25日（水）に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。  
四半期決算説明資料は当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(会計方針の変更) .....	5
(セグメント情報) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当期の日本経済は北朝鮮の地政学リスクの拡大など懸念材料を抱える一方、日銀の量的金融緩和開始以来4年を経て、需給ギャップが解消すると同時に、設備投資、住宅投資、個人消費が相次いで回復し、加えて世界貿易の拡大を背景に輸出も増加に転じるなど、内需・外需ともに順調に推移しました。企業業績は史上最高を更新し、労働需給のひっ迫を背景に賃金も緩やかながら上昇が見られ、消費者物価もプラスに転じるなど、デフレからの脱却が次第に明確になって参りました。9月には景気拡大58ヵ月目を迎え、イザナギ景気を超える史上第2位の長寿景気を達成するなど、景気は徐々に明るさが広がって参りました。

電子部品業界におきましては前事業年度下期から需要回復し、前年同期と比較して好調に推移しております。自動車部品の電装化や産業機械のFA化に伴い、車載・産業機器向けの電子部品需要が増加しております。IoT化への進展にともなう情報量の増加により、クラウド環境整備に対する半導体および通信機器などの需要も好調に推移しました。また、スマートフォンの生産調整が解消し、部品需要も回復したことから総じて堅調に推移しました。

当社におきましてはワイヤーボンディング用純金めっき薬品の販売は、メモリー向け半導体の旺盛な需要に支えられて好調に推移しました。パッケージ基板や携帯電話用マザーボード向けの無電解めっき薬品につきましては、順調に推移しました。コネクタ用硬質金めっき薬品およびリードフレーム用パラジウムめっき薬品につきましては、スマートフォンおよび車載・産業機械向けの部品需要が増加したことから好調に推移しました。また、パラジウムめっき薬品につきましては、貴金属パラジウム相場の高騰から販売価格が当初販売計画を押し上げる結果となりました。

その結果、売上高は5,031百万円（前年同四半期累計期間比30.5%増）、営業利益は551百万円（前年同四半期累計期間比49.3%増）、経常利益は602百万円（前年同四半期累計期間比41.5%増）、四半期純利益は422百万円（前年同四半期累計期間比35.5%増）となりました。

売上高の用途品目別内訳は、プリント基板・半導体搭載基板用1,525百万円、コネクタ・マイクロスイッチ用976百万円、リードフレーム用2,145百万円、その他383百万円であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

資産合計は13,287百万円となり、前事業年度末に比べて2,133百万円の増加となりました。

流動資産は6,546百万円となり、前事業年度末に比べて331百万円の増加となりました。これは主に現金及び預金が150百万円、原材料及び貯蔵品が123百万円増加したことによるものであります。

固定資産は6,740百万円となり、前事業年度末に比べて1,801百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金の増加に伴い投資有価証券が1,712百万円増加したことによるものであります。

## (負債)

負債合計は2,322百万円となり、前事業年度末に比べて717百万円の増加となりました。

流動負債は692百万円となり、前事業年度末に比べて198百万円の増加となりました。これは主に買掛金が71百万円増加したことによるものであります。

固定負債は1,630百万円となり、前事業年度末に比べて518百万円の増加となりました。これは主に繰延税金負債が518百万円増加したことによるものであります。

## (純資産)

純資産合計は10,964百万円となり、前事業年度末に比べて1,416百万円の増加となりました。これは主にその他有価証券評価差額金が1,183百万円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、平成29年10月16日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,298,136	4,448,264
受取手形及び売掛金	1,538,742	1,601,959
商品及び製品	115,365	133,098
原材料及び貯蔵品	134,317	257,682
その他	128,655	105,879
流動資産合計	6,215,217	6,546,885
固定資産		
有形固定資産	103,677	99,253
無形固定資産	30,873	126,678
投資その他の資産		
投資有価証券	4,754,830	6,467,702
その他	49,327	47,061
投資その他の資産合計	4,804,157	6,514,764
固定資産合計	4,938,708	6,740,696
資産合計	11,153,925	13,287,581
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	216,137	288,020
未払法人税等	145,953	198,991
賞与引当金	56,026	59,738
その他	75,764	146,086
流動負債合計	493,881	692,835
固定負債		
長期末払金	278,442	278,442
繰延税金負債	793,876	1,312,048
資産除去債務	39,449	39,521
固定負債合計	1,111,767	1,630,011
負債合計	1,605,649	2,322,846
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,283,196	1,283,196
資本剰余金	1,026,909	1,026,909
利益剰余金	6,405,200	6,598,217
自己株式	△1,335,042	△1,309,637
株主資本合計	7,380,265	7,598,686
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,098,212	3,281,363
繰延ヘッジ損益	△997	2,983
評価・換算差額等合計	2,097,215	3,284,346
新株予約権	70,796	81,701
純資産合計	9,548,276	10,964,734
負債純資産合計	11,153,925	13,287,581

（2）四半期損益計算書  
（第2四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	3,855,198	5,031,512
売上原価	2,972,452	3,977,278
売上総利益	882,745	1,054,233
販売費及び一般管理費	513,174	502,305
営業利益	369,571	551,928
営業外収益		
受取利息	81	42
受取配当金	46,373	50,543
為替差益	—	354
その他	11,158	113
営業外収益合計	57,613	51,054
営業外費用		
為替差損	648	—
自己株式取得費用	407	—
営業外費用合計	1,055	—
経常利益	426,128	602,982
特別利益		
新株予約権戻入益	9,382	1,081
特別利益合計	9,382	1,081
特別損失		
固定資産除却損	—	3
特別損失合計	—	3
税引前四半期純利益	435,511	604,060
法人税、住民税及び事業税	121,604	189,938
法人税等調整額	2,215	△8,266
法人税等合計	123,819	181,671
四半期純利益	311,691	422,389

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（セグメント情報）

当社は、貴金属めっき用薬品製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。